

1月15日(金曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## 米国経済指標ラッシュ

### 14日(木)の主な推移



①

12月の豪雇用統計が予想を上回る強さ(失業率 5.5%・新規雇用者数 3.52 万人増)をみせたことで、2月の利上げ期待が高まり、豪ドル/円が急上昇した。また、日経平均株価が前日比 100 円超の上昇となったこともあり、積極的にリスクを取る動きからユーロ/円も 133 円台を回復して上昇した。

②

12月の米小売売上が予想を大きく下回り、0.3%の減少となったことや、1/10までの週の新規失業保険申請件数が 44.4 万件と予想外に増加していたことなど、弱い米経済指標を受けて米国の低金利政策の長期化観測から長期金利が下落すると、対円を中心にドル売りが優勢となり、この円高がクロス円(ユーロ/円や豪ドル/円など)にも波及した。

③

②の弱い米経済指標を受けて、対ユーロでもドル売りが強まる場面もあったが、ECB理事会後のトリシェ総裁会見で「強いドルが重要」との認識を改めて表明したことで、一転してユーロ売りが優勢となり、ユーロ/ドルは 1.4445ドル、ユーロ/円で 131.71 円まで下落した。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4380-1.4580ドル  
ユーロ/円 : 131.20-133.70

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 84.00-86.00 円

本日はマーケットに影響を与えそうな米国の経済指標が数多く予定されており、週末の取引となることも手伝って米経済指標発表までは、様子見姿勢が強まる事が予想される。

NY時間では12月の消費者物価指数や鉱工業生産の結果を受けての株式市場や長期金利の動向がドル相場を左右することになりそうだ。米国ではこのほかにも1月のNY連銀製造業景気指数や12月の設備稼働率も発表される。

米企業の第4四半期決算発表が本格化するが、好決算への期待が高く、NY株式市場の堅調推移が予想されることから、リスクを取る動きは強まりやすく、豪中銀による2月の利上げ期待もあって、豪ドル/円は底堅い動きとなりそうだ。ただ、週末の取引であり、米国では来週月曜日が休日となり3連休となるため、ポジション調整による利益確定の売りが出やすい水準であることも考慮しておくべきであろう。

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/15(金)	19:00	○	(ユーロ圏) 12月消費者物価指数・速報 [前年比]	+0.5%	+0.9%
	21:00	○	(米)JP・モルガンチェース決算発表	-	-
	22:30	◎	(米) 12月消費者物価指数 [前月比]	+0.4%	+0.2%
	23:15	◎	(米) 12月鉱工業生産 [前月比]	+0.8%	+0.6%
	23:55	○	(米) 1月ミシガン大消費者信頼感指数・速報値	72.5	74.0

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。